

# 感染症の発生状況について

滋賀県衛生科学センター  
令和7年5月22日



# 本日の内容

- 近年の発生状況
- ARIについて
- 麻しんの発生状況について
- 百日咳の発生状況について
- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に伴い実施する強化サーベイランスについて

# 近年の発生状況

# 1. 全数把握疾患

# 2022～2025年に報告があった全数把握疾患①

類型	疾患名	2022年	2023年	2024年	2025年(19wまで)
二類	結核	158	124	134	47
三類	腸管出血性大腸菌感染症	46	38	34	5
四類	E型肝炎	0	1	2	1
	A型肝炎	0	3	1	0
	エキノコックス	1	0	0	0
	オウム病	0	0	1	0
	つつが虫病	1	1	3	0
	デング熱	0	0	3	0
	レジオネラ症	33	32	39	4
五類	レプトスピラ症	0	0	1	0
	アメーバ赤痢	9	8	4	2
	ウイルス性肝炎	0	0	1	0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	20	20	22	1
	急性弛緩性麻痺	0	0	1	0
	急性脳炎	1	7	1	1

東近江保健所圏内の  
医療機関から届出

滋賀県内初の届出

# 2022～2025年に報告があった全数把握疾患②

類型	疾患名	2022年	2023年	2024年	2025年(19wまで)
五類	クリプトスポリジウム症	0	1	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	3	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15	14	19	13
	後天性免疫不全症候群	5	3	6	2
	ジアルジア症	0	0	1	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	7	8	8
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	2	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	19	27	32	24
	水痘(入院例)	6	9	3	2
	梅毒	69	78	87	20
	播種性クリプトコックス症	2	4	3	2
	破傷風	0	2	1	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	0	1
	百日咳	9	15	139	228
県内で3年ぶりに報告	麻しん	0	0	1	2
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	1	0	0

県内で9年ぶりの発生

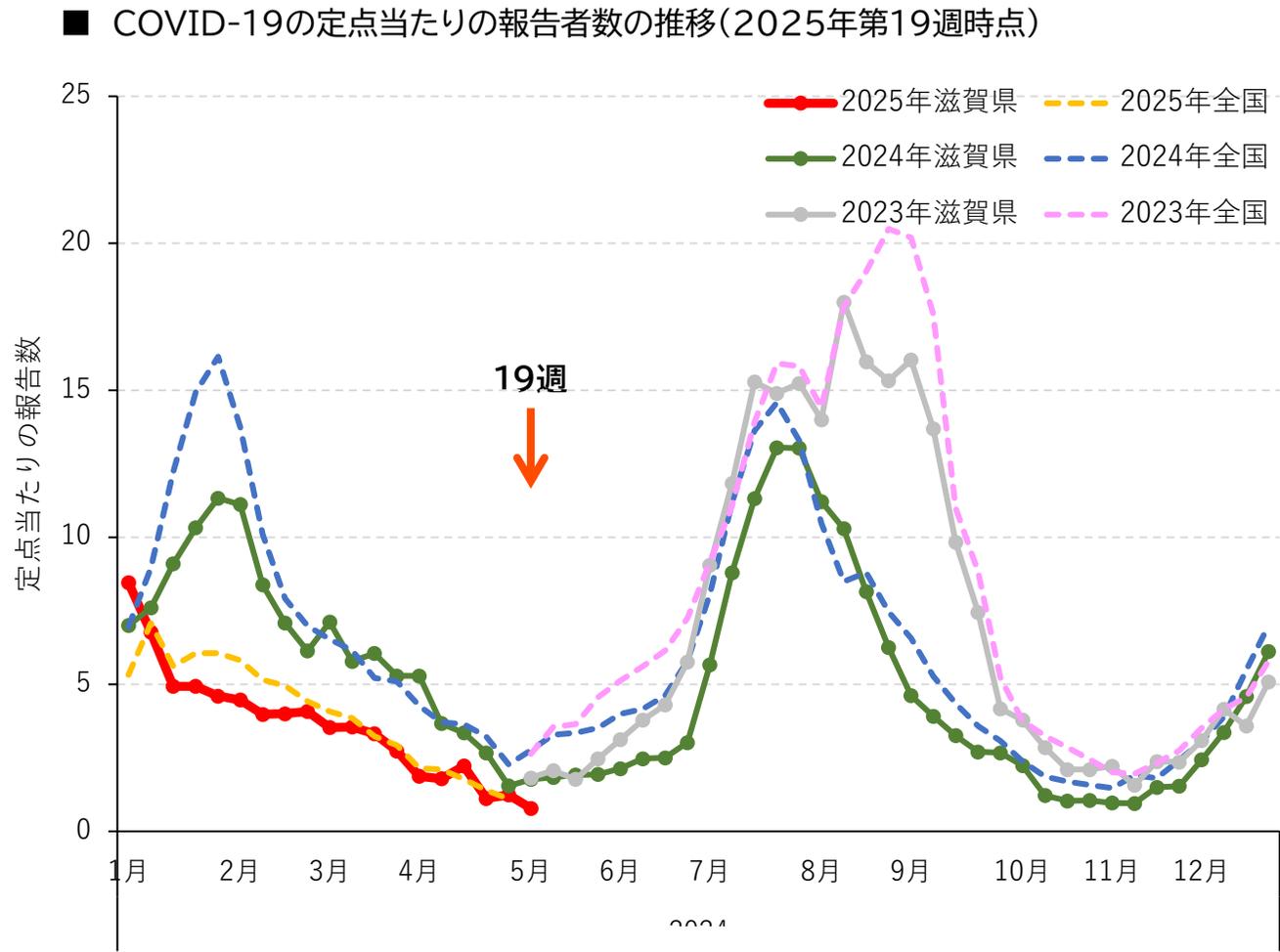
国内外で報告数が増加

県内で3年ぶりに報告

## 2. 定点把握疾患

# COVID-19

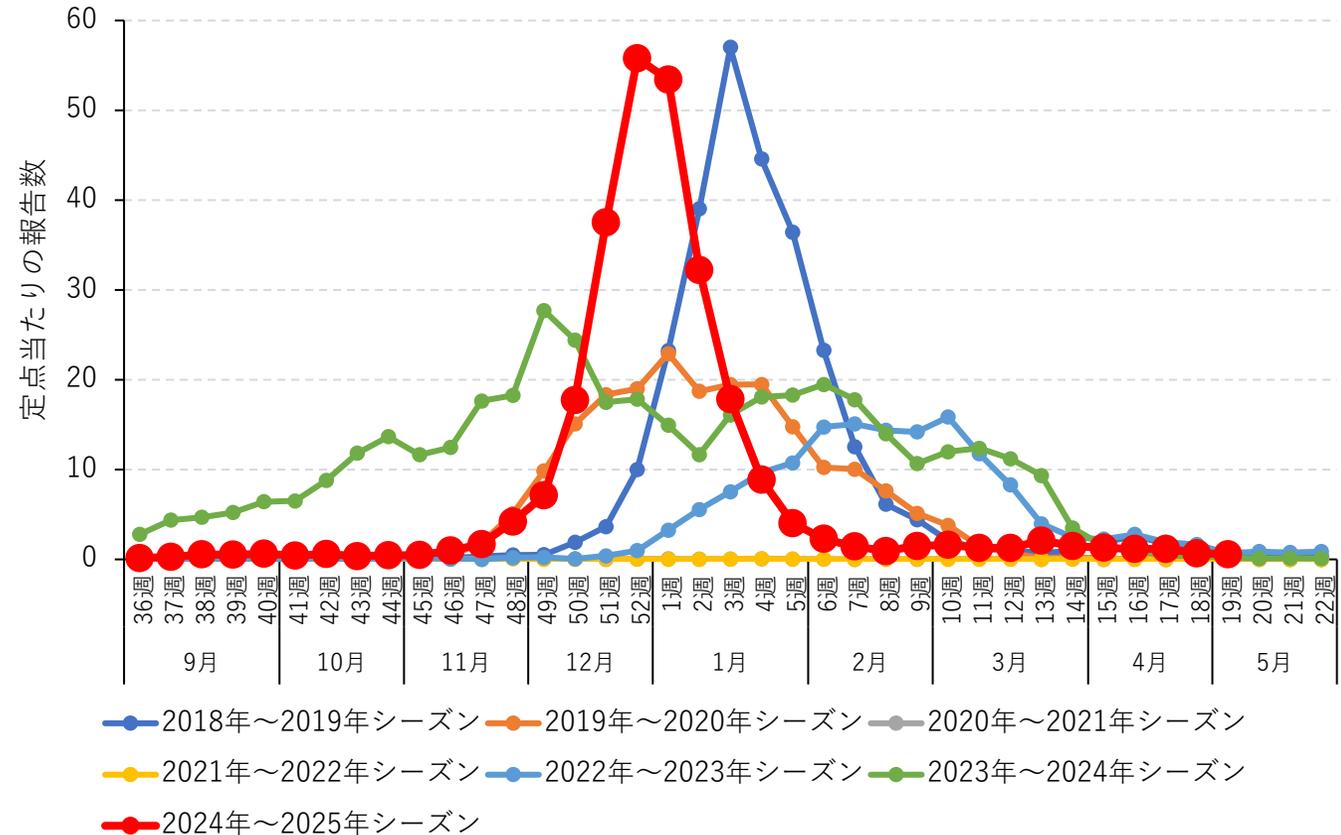
- 2023年の5月(第19週)から定点把握疾患となった
- 2023年と2024年の推移は、**夏**(7月頃から増加し、8月頃にピークを迎え、その後減少)と**冬**(12月毎から増加し、2月頃にピークを迎えその後緩やかに減少)の二峰性となっており、全国とほぼ**同様の動向**となっている。



# インフルエンザ

- 2024/2025年シーズンの流行期入りは、第47週(11/18~11/24)に発表
- 注意報は第50週(12/9~12/15)、警報は第51週(12/16~12/22)に基準値を上回った。
- 第52週(12/23~12/29)の定点当たりの報告数は、**55.78**と**過去2番目**に多い報告数となった。
- その後大きく減少し、第4週(1/20~1/26)には警報・注意報共に解除となった。

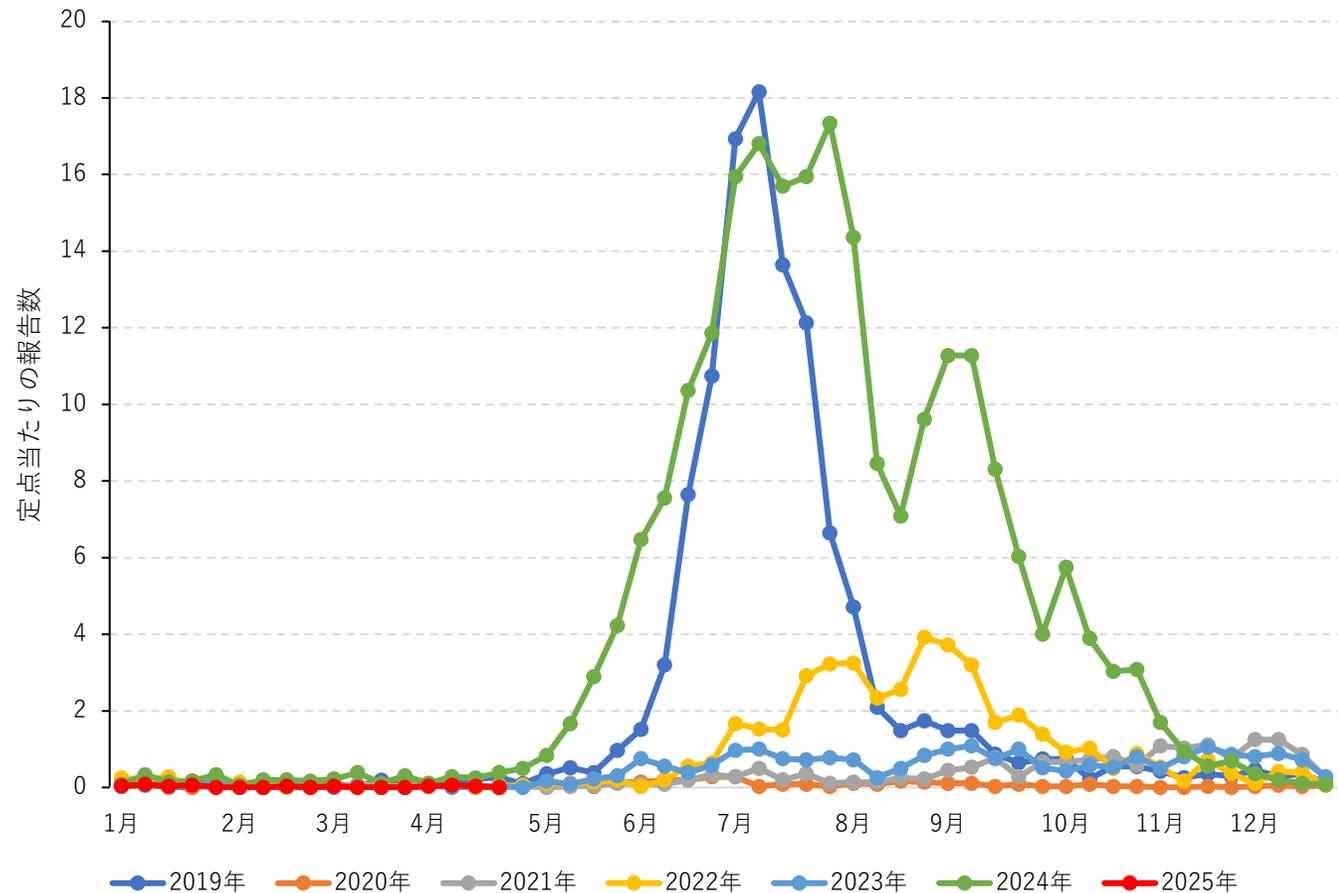
■ 滋賀県 インフルエンザ 2018年~2019年シーズン以降の定点当たりの報告者数の推移 (2025年第19週時点)



# 手足口病

- 以前は、2年ごとに流行が見られていたが、新型コロナウイルス感染症のパンデミック後は大きな流行が見られていなかった。
- 2024年は5月頃から徐々に増加し、第22週(5/27~6/2)に**警報**基準を超えた。
- 2024年は**二峰性**の流行が見られた。
- 2024年は過去の流行に比べて報告数が大きく増加
  - 2024年 8,347人
  - 2019年 3,539人
  - 2017年 3,846人

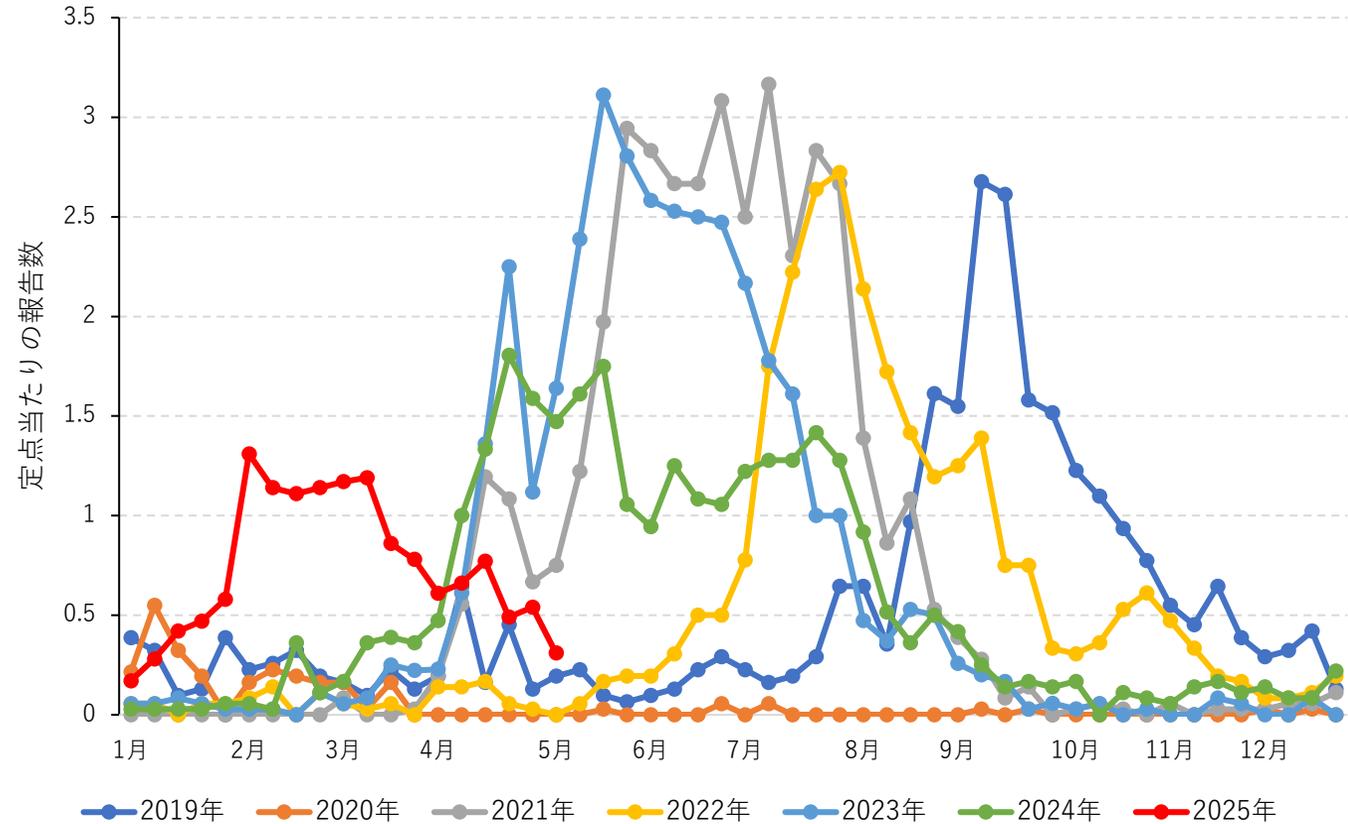
■ 滋賀県 手足口病 2019年以降の定点当たりの報告者数の推移(2025年第19週時点)



# RSウイルス感染症

- 2024年は、2月頃から増加し始め、4月に大きく増加
- ピーク時の報告数は比較的少なかったが、報告者数の多い期間が長く続いた
- 新型コロナウイルス感染症流行後、流行時期にはばらつきがみられる

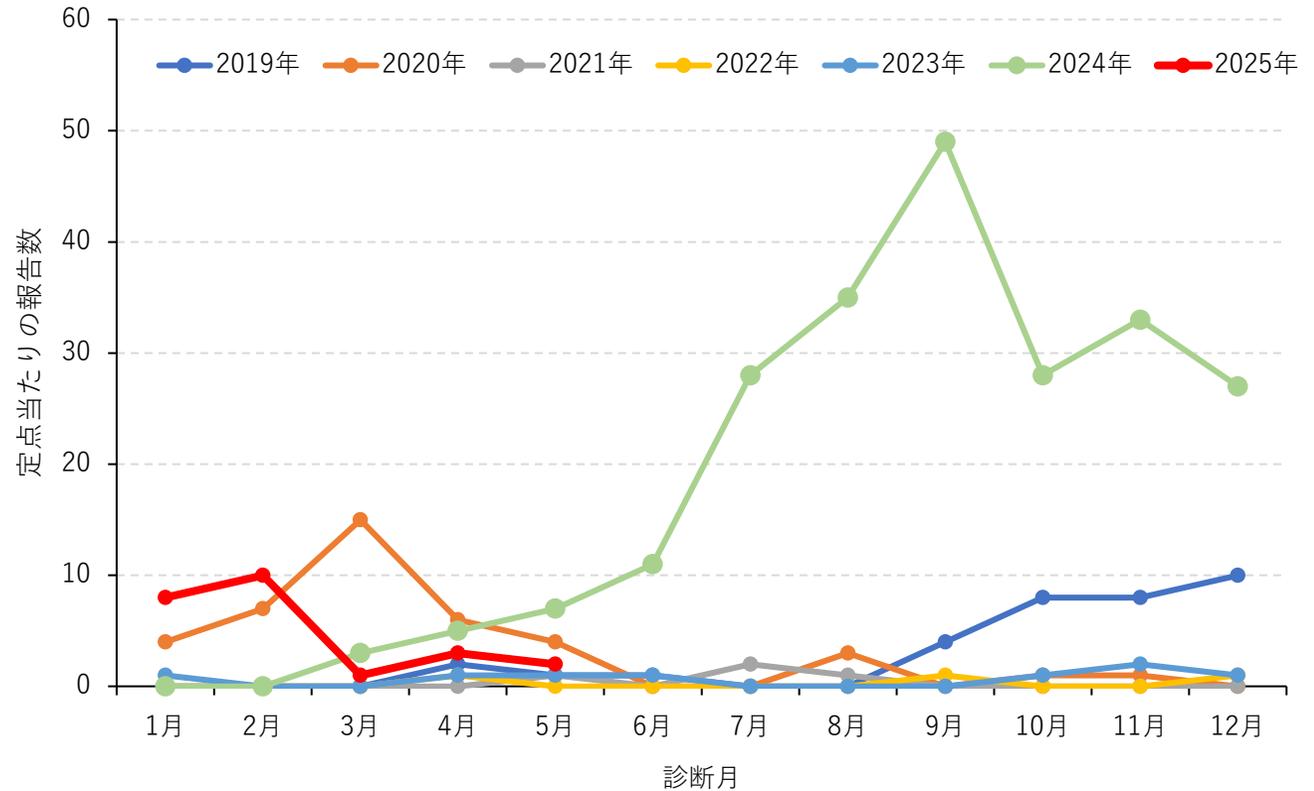
■ 滋賀県 RSウイルス感染症 2019年以降の定点当たりの報告者数の推移(2025年第19週時点)



# マイコプラズマ肺炎

- 2024年の年間累積報告数は226人と1999年以降で**最も多くな**った。
- 秋冬期に流行することが報告されているが、2024年は**7月頃**から報告数の増加が見られた。
- 9月をピークに減少したものの、**高い水準で推移**した。
- 全国では7月頃から増加傾向が見られ、11月をピークに減少傾向が見られた。

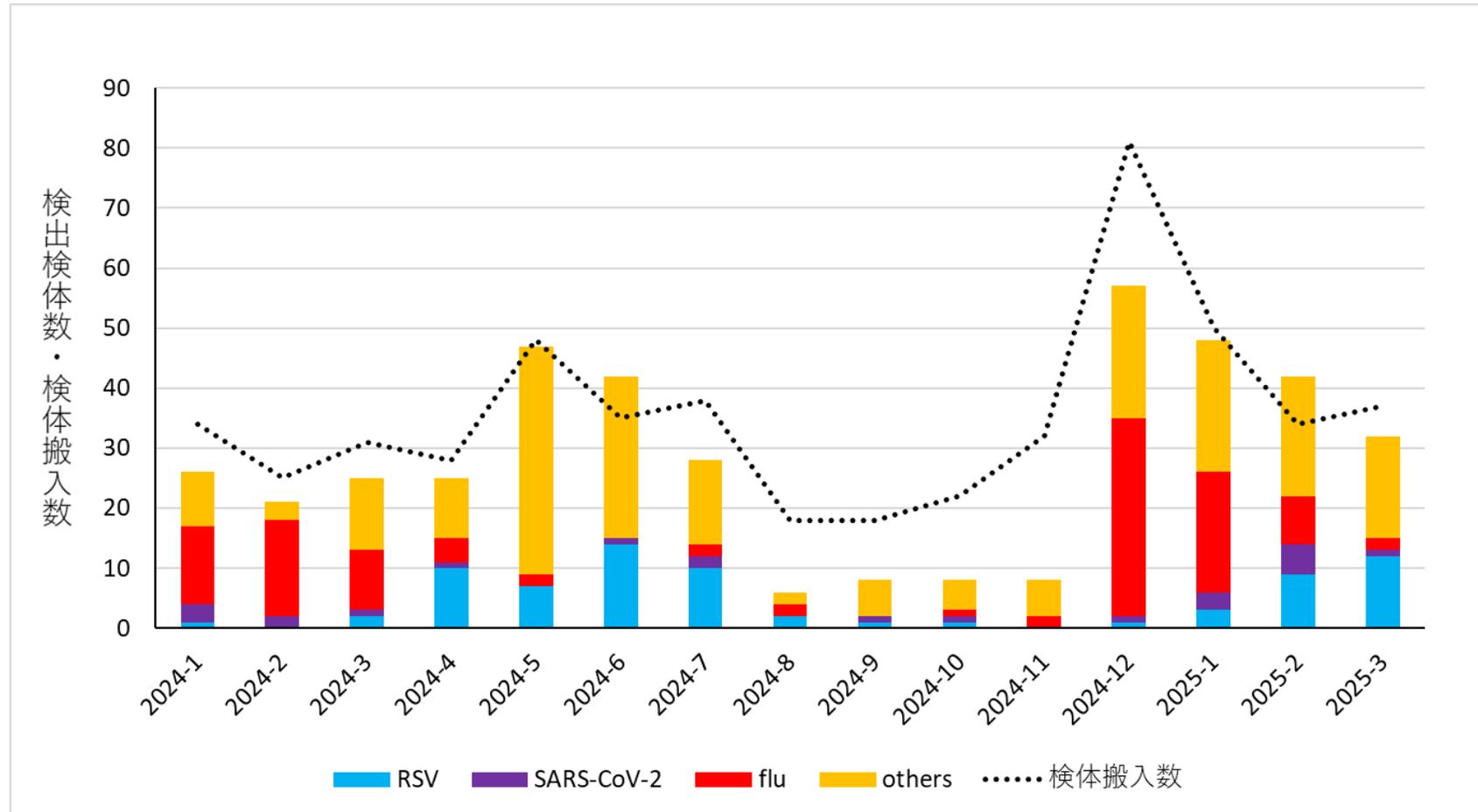
■ 滋賀県 マイコプラズマ肺炎 2019年以降の定点当たりの報告者数の推移  
(2025年第19週時点)



# 3. 病原体検出情報

# 呼吸器ウイルスの検出状況

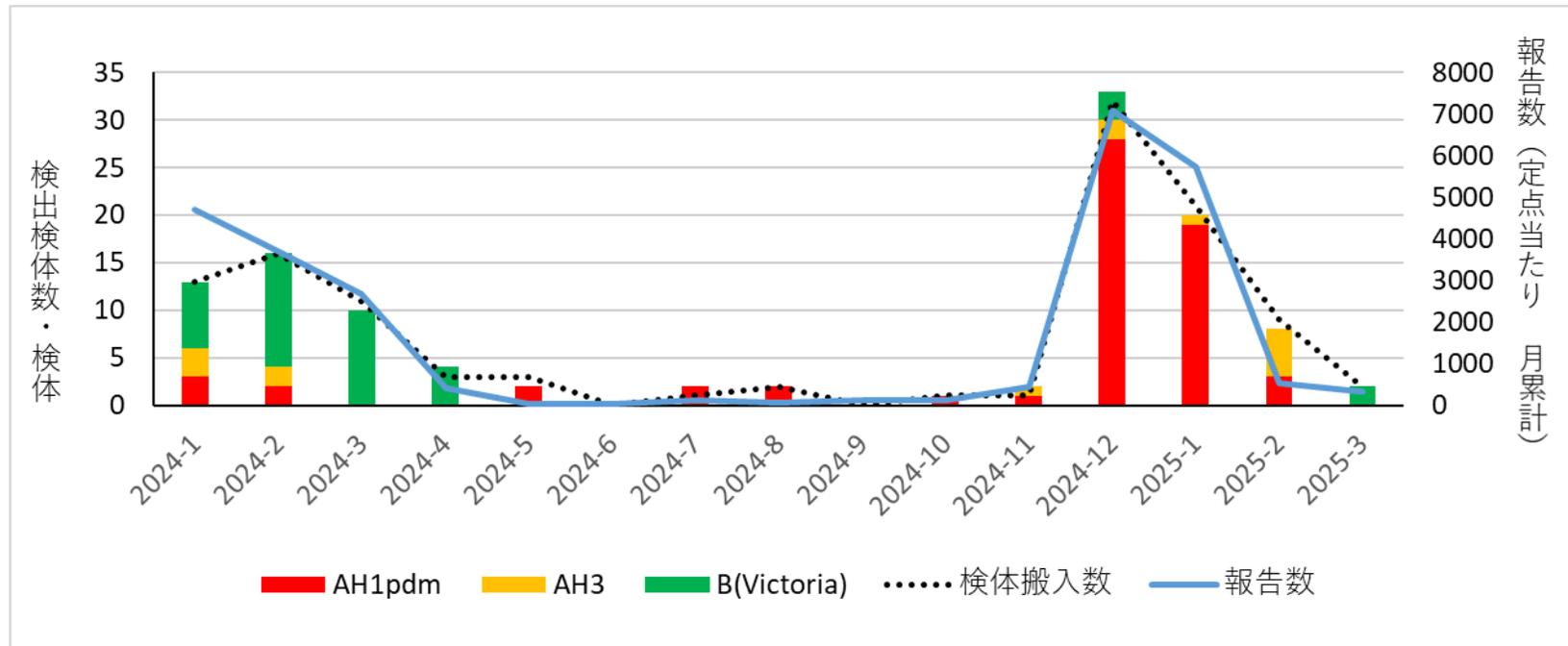
- ・RSウイルスはほぼ年間を通じて検出された。2024年は春から夏にかけて検出が増え、2025年は春にかけて検出数が増加した。
- ・SARS-CoV-2についても、5月と11月を除き年間を通じて検出されている。



(RSV: RSウイルス, flu: インフルエンザウイルス, others: ヒトメタニューモウイルス, パラインフルエンザウイルス, ライノウイルスetc)

# インフルエンザウイルスの検出状況

- ・2024年1月からB(Victoria)型が主流→2023/2024年シーズンの流行の前倒しに起因すると考える。
- ・2024/2025年シーズンは、AH1pdm亜型が主流。



## その他のウイルスの検出状況

- ・2023年9月から2024年9月にかけて咽頭結膜熱の流行が持続。アデノウイルス3型を検出。
- ・2024年は手足口病の流行が二峰性に認められた。コクサッキーウイルス6型と16型を検出。

# ARIサーベイランスについて

# 2025年度から新たに追加されたARIサーベイランスとは

## ■ 急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの目的

ARIの定義に合致する症例数及び収集された検体又は病原体から、各感染症の患者数や病原体等の発生数を集計し、国内のARIの発生の傾向（トレンド）や水準（レベル）を踏まえた、流行中の呼吸器感染症を把握する。また、新興・再興感染症の発生を迅速に探知する。

## ■ ARIの症例定義

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

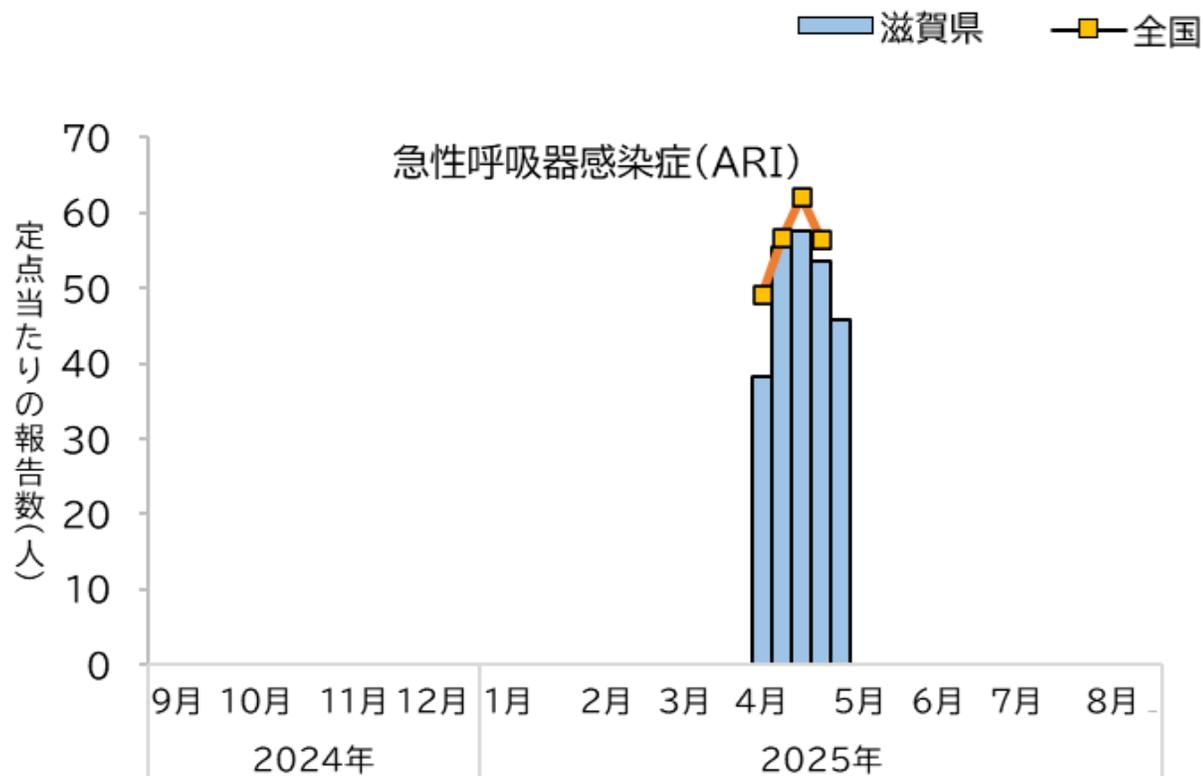
# 県内のARIサーベイランス実施状況

## 県内では計58の定点医療機関から報告を受けて集計

ARIサーベイランスに関する保健所圏域別  
指定医療機関数（令和7年4月28日時点）

	小児科	内科
大津市	8	5
草津	8	5
甲賀	4	3
東近江	5	3
彦根	4	3
長浜	4	3
高島	2	1
合計	35	23

第19週（5月15日集計）時点のARIサーベイランス集計結果



# 麻しんの発生状況について

## 全国の発生状況

- 2025年1月1日以降、5月4日までに全国で計106例の麻疹が報告
- 推定感染地域の記載があったもののうち、推定感染地域が「国外」の届出が約半数、うち**最も多い国はベトナム**であった
- 一方で、**推定感染地域が「国内」**の届出が約4割あり、国内での2次感染例や家族内感染が報告され、複数の自治体に関わる広域での対応が必要な事例も発生している

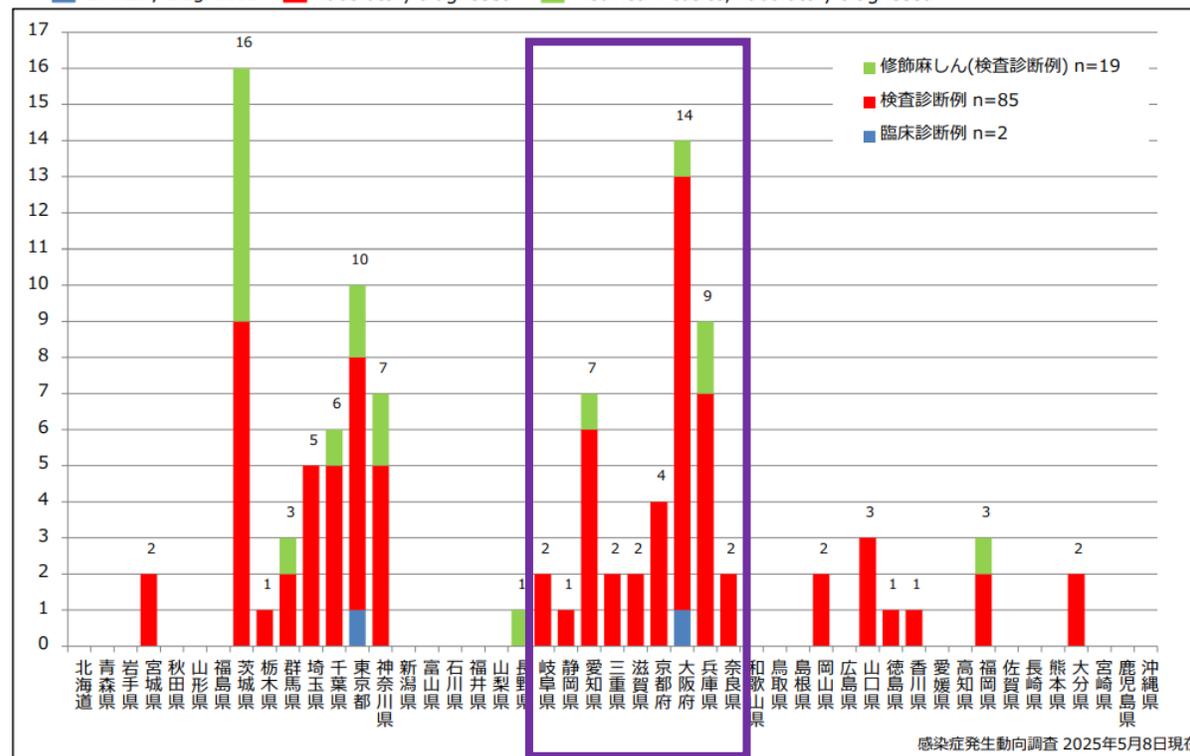
## 滋賀県の発生状況

- 2025年1月1日以降、**2例の報告**（3月に草津保健所管内、4月に大津保健所管内）があり、推定感染地域は1例が国外（タイ）、1例が不明であった
- 麻疹（臨床診断例）として2025年1月1日以降、10例の報告があり、衛生科学センターにおいてすべてPCR検査を実施（うち8例が陰性）
- 近隣府県からも多くの麻疹が報告されており、引き続き、**麻疹発生時の迅速な疫学調査および関係機関との円滑な連携**が求められる

### 4. 都道府県別麻疹累積報告数 2025年 第1~18週 (n=106)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-18, 2025 (as of May 8, 2025)

■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Modified measles, Laboratory diagnosed



滋賀県の近隣府県

参考:

感染症発生動向調査 (IDWR) 麻疹 発生動向調査 2025年第18週 ('25/05/8現在)

<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-18.pdf>

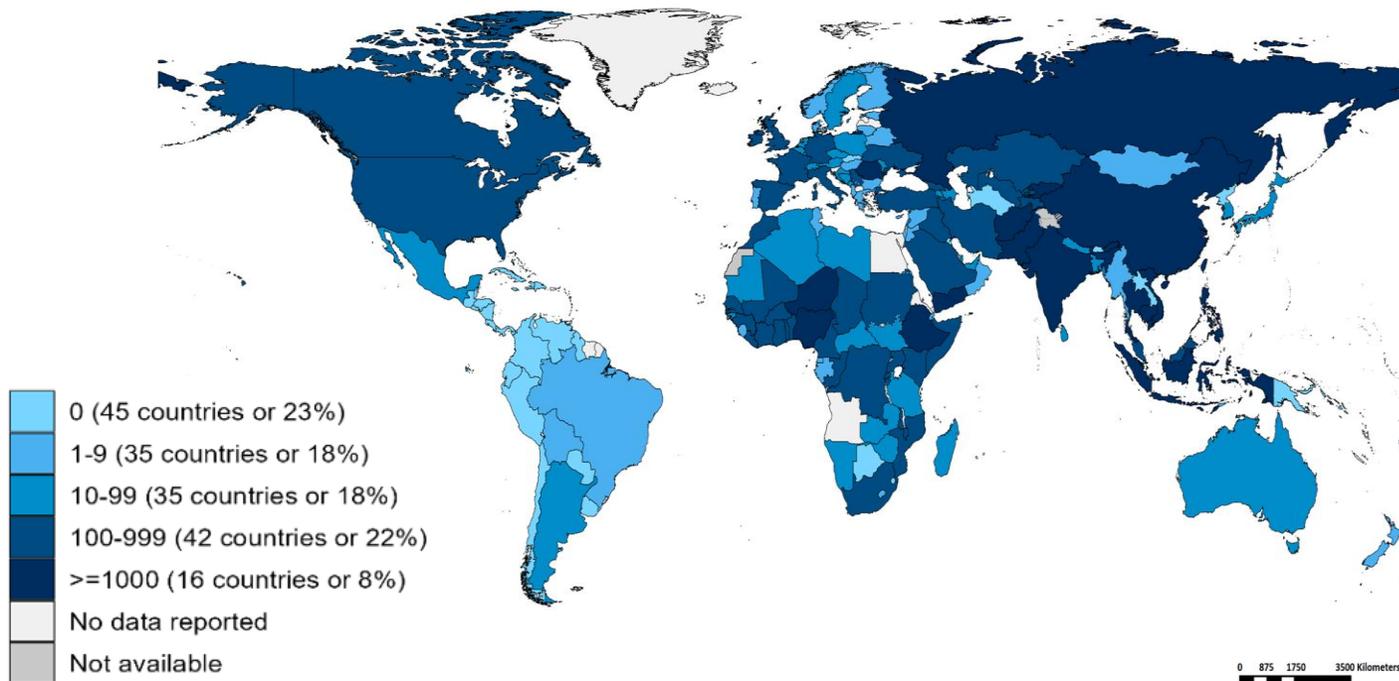
麻疹の発生に関するリスクアセスメント (2025年第一版) (2025年4月1日時点)

[https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/090/measles\\_ra\\_2025\\_1.pdf](https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/090/measles_ra_2025_1.pdf)

## 世界的な発生状況

- 2020年から2021年にかけて麻疹の報告数は大幅に減少したが、2022年以降は、**世界的に麻疹症例の報告数が増加**しており、**麻疹含有ワクチン接種率の低下**に伴う感受性者数の増加により更なる麻疹症例の増加が懸念されている
- 2025年3月までの主な報告地域は東地中海、アフリカ、ヨーロッパで、全体の82%を占め、報告数が多い国は、イエメン、パキスタン、インド、タイ、エチオピア、ルーマニアなど。
- ベトナム**でも2024年は2,105例の報告であったが、**2025年には、年初から4月17日までに8,614例の報告があった。**

世界における麻疹の報告数（2025年4月時点における2024年9月～2025年2月の集計結果）



麻疹が今後も国内に持ち込まれる可能性

⇒ワクチン接種歴2回の確認を！

参考：  
麻疹の発生に関するリスクアセスメント（2025年第一版）（2025年4月1日時点）  
[https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/090/measles\\_ra\\_2025\\_1.pdf](https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/090/measles_ra_2025_1.pdf)  
WHO Immunization data : Provisional measles and rubella data  
<https://immunizationdata.who.int/global?topic=Provisional-measles-and-rubella-data&location=Vietnam.vn>  
<https://www.vietnam.vn/ja/ghi-nhan-2-ca-tu-vong-lien-quan-den-soi>

# 百日咳の発生状況について

## 全国の発生状況

- 国内では2024年から報告数の増加がみられ、2025年第1週以降、第12週時点で4,200例の届出があり、全数把握対象疾患になった2018年以降の同時期としては過去最多で、すでに2024年の年間届出数4,054例を超えた
- 2025年4月現在、**9都道府県からマクロライド耐性百日咳菌の検出報告**がある

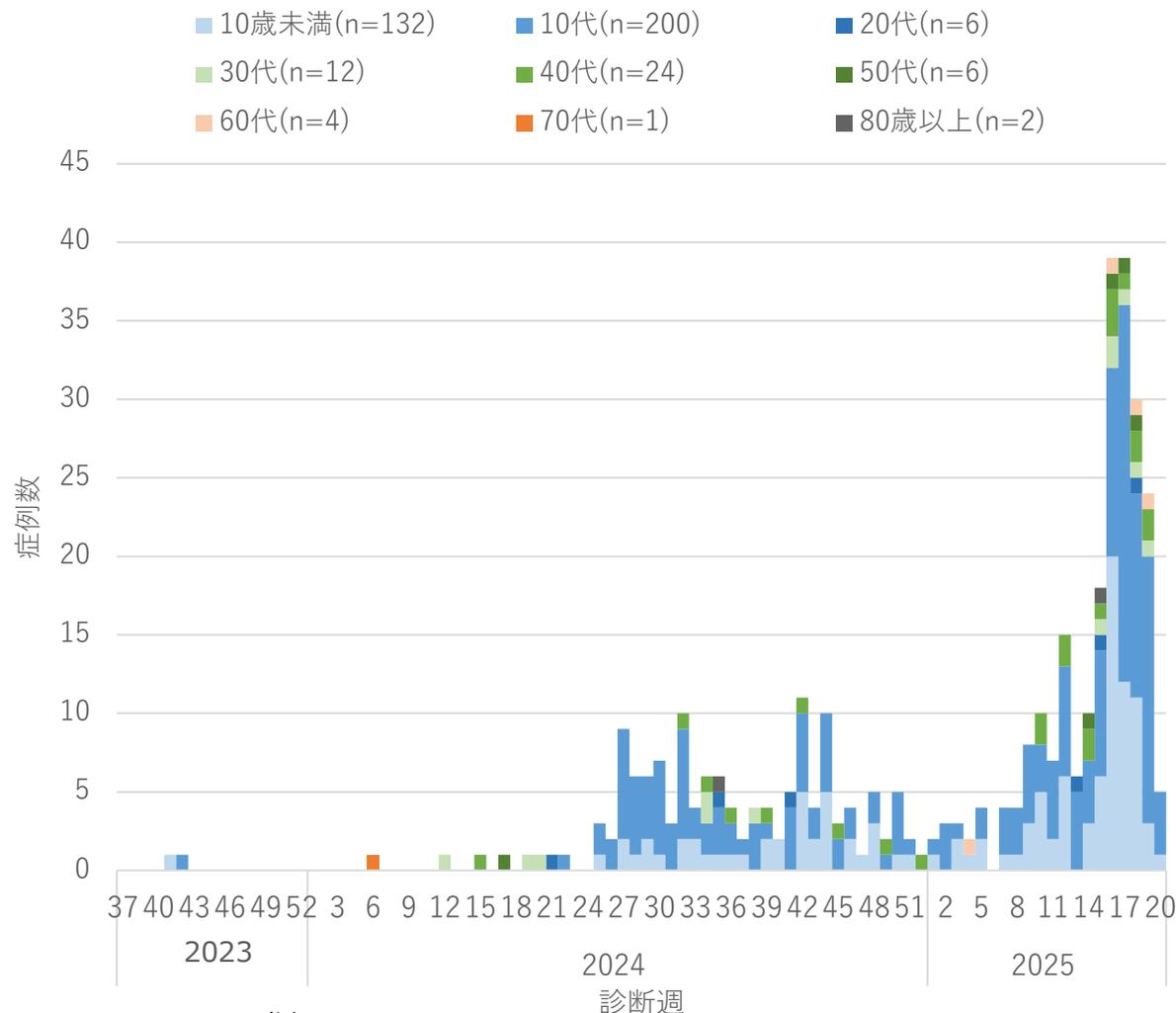
## 滋賀県の発生状況

- 2025年第1週以降、第18週（5月5日時点）までに**200例の届出**があり、2024年における139例/年の届出数を超え、**過去最多**となった（図）
- 年齢群別では**10代が最も多く48%**を占め、次いで10歳未満が38%であった
- 届出があったうち、約7割がワクチン接種済みであり、残り約3割が接種歴不明または無しであった

## 世界的な発生状況

- 欧州連合(EU)/欧州経済領域(EEA)、米国等国外においても、前年を上回る報告数となっている

図 滋賀県内における百日咳届出数推移( 2023年第37週~2025年第19週 )



**国民スポーツ大会・全国障害者  
スポーツ大会開催に伴い実施する  
強化サーベイランスについて**

## 強化サーベイランスの背景および目的と日程

### 【背景および目的】

感染症の異常な発生の早期探知および迅速な情報共有を行う体制を構築し、感染拡大を防止することが目的

- 2025年わたSHIGA輝く国スポ・障スポは、期間中に県外から多くの選手およびスタッフ等全国規模のイベント
- 過去の全国規模イベントにおける国内の感染症の集団発生事例としては、侵襲性髄膜炎菌感染症や麻しん等複数の事例があるため、感染症の早期探知による拡大防止が重要
- 現状では感染症の発生状況についての公表情報としては、感染症情報センターが発行する『滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報』のみであり、速報性に乏しい現状

### 【方法】

- 普段からの感染症サーベイランスに加え、様々な情報（詳細は次ページ）を活用し、県内の大会に関連する事案を日々リスク評価⇒リスク評価の結果を日報にして、県内（大津市含む）の関係機関に提供

### 【日程】

- 平日のみ実施
  - ✓ 国スポ総合開会式1週間前：2025年9月22日（月）～9月26日（金）
  - ✓ 国スポ総合閉会式後から障スポ開会式まで：2025年10月9日（木）～10月24日（金）
  - ✓ 障スポ閉会式の2週間後：2025年10月28日（火）～11月10日（月）
- 土日も含め連日実施
  - ✓ 国スポ大会期間中：2025年9月28日（日）～10月8日（水）
  - ✓ 障スポ大会期間中：2025年10月25日（土）～10月27日（月）

